

軽食 こびる (水沢地区)

◎紹介

高齢者の憩いの場を提供したいという思いから、水沢駅通りにある狸横丁の空き店舗を活用しお店を始めた。店主の瀬川とよ子さんは、福祉施設に勤務していたこともあり、介護福祉士の資格をもっている。食事提供以外にも何ができるか模索の日々。



基本情報

営業日	月曜～土曜・祝日
営業時間	10:30～15:30 (冬期は11:00～)
住所	奥州市水沢字寺小路3
取扱商品	軽食 (すいとん、うどん、餅、ランチセットなど) 飲み物 (コーヒー、りんごジュース、クリームソーダなど)
客席数	6席 (2人掛けテーブル×3)

『こびる』を始めたきっかけ

- 勤めていた喫茶店は、高齢のお客さんが多かった。ある日、初めて来店した高齢の女性の会話や行動に認知症の症状が見受けられ心配していた。しかし、その女性は定期的に店に通っているうちに表情が明るくなり、認知症の症状が軽減していることが感じ取れた。高齢者にとって通える場があることの大切さを実感し、退職後に居場所づくりをしたいと思うようになった。
- 勤めていた喫茶店が閉店することになり、連絡を取り合う仲となっていた常連客の「皆で集まれる場所を作ってほしい」という要望に応えたいと思った。

『こびる』開店までの経緯

- 平成 31 年 3 月：勤めていた喫茶店が閉店
- 令和元年 5 月：常連客より知人（大家）を紹介され、空き店舗活用を提案される
- “ 6 月：空き店舗の修繕工事（カラオケの配線工事含み）
→修繕費は大家さん持ち
- “ 7 月：・地域医療介護推進室より参考事例の情報を提供
→他県の居場所の映像を見る
・保健所にて必要事項を確認
→建物の構造上、その場で調理して提供することはできず、温め程度で出せるメニューを検討
- “ 8 月：『こびる』開店

お客様の声

- 開店以来 10 数年通い続けていた喫茶店の閉店により居場所が無くなり、残念であった。また通える居場所ができて嬉しい。
- 体調を崩し昨日も点滴通院をしてきたが、ここに来て元気になれた。
- 『こびる』に来るとホッとする。瀬川さんの人柄も話しやすく、いつも愚痴を聞いてもらっている。駅通りにあり、来やすいこともあってほぼ毎日通っている。

生活支援コーディネーター高橋が感動したこと



◆店主の思い ～店主の今後の活動への思いも素晴らしい～

- *送迎も対応したい。閉店時まで残っていた常連客を数回自宅まで送ったこともある。
- *いずれはイオン前沢店やさくら野百貨店（北上）へ希望者を車に乗せていくなどの買い物支援をと考えている。
- *常連客には裁縫が得意な人もいる。他の常連客の特技なども聞いて、活動の場としても利用してもらいたい。
- ※現在、客席として使用していない 1 階の小上がりスペース（1.5 畳程）と 2 階の和室 1 室（10 畳）がある

◆常連客との信頼関係 ～互いに信頼し助け合っている～

- *店で提供するメニューを決める際、常連客に何が食べたいか聞いて参考にしている。
- *家賃・光熱費・材料代程度になればと値段を決めているが、常連客より「この値段では安すぎる。もっと高く設定した方が良い!!」など、アドバイスしてもらえらるため助かっている。

※『こびる』
ちょこっとメモ☆

今、使用している店の暖簾は 7 枚目。常連客が見立てたり、手作りして持って来てくれるそうです♪